

本資料の情報に関する注意

本資料には試験方法等が確立していない内容も含まれており、あくまでも記載されている試験方法で得られた結果を事実として提示している。医療従事者が臨床適用を検討する上での参考情報であり、可否を示すものではない。

安定性試験

(無包装状態)

オランザピン OD 錠 5mg 「NIG」

無包装状態の安定性試験

オランザピン OD 錠 5mg 「NIG」の無包装状態における安定性を検討した結果、40℃、25℃・75%RH、曝光下の保存条件において、各試験項目は全て規格内であった。40℃・75%RHの保存条件において、3ヵ月後で含量が規格外であった。

● 無包装 40℃ [遮光・気密容器]

(最小値～最大値)

試験項目 <規格>	保存期間	
	開始時	3ヵ月
性状 n=3 <淡黄色の片面十字割線入りの口腔内崩壊錠>	淡黄色の片面十字割線入りの口腔内崩壊錠	淡黄色の片面十字割線入りの口腔内崩壊錠
純度試験 (HPLC) n=3 <※1>	適合	適合
崩壊性 n=6	適合	適合
溶出性 (%) n=6 <15分, 85%以上>	97~100	96~99
含量 (%) ※2 n=3 <95.0~105.0%>	98.47~99.95	99.23~99.54
(参考値) 硬度 (kg) n=3	4.9	5.4

※1：RRT 約 0.09 及び約 0.16 の類縁物質：0.4%以下，RRT 約 0.88 の類縁物質：0.3%以下，左記以外の個々の類縁物質：0.2%以下，総類縁物質：1.0%以下

※2：表示量に対する含有率 (%)

● 無包装 25°C・75%RH [遮光・開放]

(最小値～最大値)

試験項目 ＜規格＞	保存期間	
	開始時	3 ヶ月
性状 n=3 ＜淡黄色の片面十字割線入りの口腔内崩壊錠＞	淡黄色の片面十字割線入りの口腔内崩壊錠	淡黄色の片面十字割線入りの口腔内崩壊錠
純度試験 (HPLC) n=3 ＜※1＞	適合	適合
崩壊性 n=6	適合	適合
溶出性 (%) n=6 ＜15分, 85%以上＞	97～100	97～99
含量 (%) ※2 n=3 ＜95.0～105.0%＞	98.47～99.95	98.96～99.48
(参考値) 硬度 (kg) n=3	4.9	4.5

※1：RRT 約 0.09 及び約 0.16 の類縁物質：0.4%以下，RRT 約 0.88 の類縁物質：0.3%以下，左記以外の個々の類縁物質：0.2%以下，総類縁物質：1.0%以下

※2：表示量に対する含有率 (%)

● 無包装 40°C・75%RH [遮光・開放]

(最小値～最大値)

試験項目 ＜規格＞	保存期間		
	開始時	4 週	3 ヶ月
性状 n=3 ＜淡黄色の片面十字割線入りの口腔内崩壊錠＞	淡黄色の片面十字割線入りの口腔内崩壊錠	淡黄色の片面十字割線入りの口腔内崩壊錠	淡黄色の片面十字割線入りの口腔内崩壊錠
純度試験 (HPLC) n=3 ＜※1＞	適合	適合	適合
崩壊性 n=6	適合	適合	—
溶出性 (%) n=6 ＜15分, 85%以上＞	97～100	96～97	—
含量 (%) ※2 n=3 ＜95.0～105.0%＞	98.47～99.95	97.96～98.32	94.51 ～95.41
(参考値) 硬度 (kg) n=3	4.9	4.6	4.4

※1：RRT 約 0.09 及び約 0.16 の類縁物質：0.4%以下，RRT 約 0.88 の類縁物質：0.3%以下，左記以外の個々の類縁物質：0.2%以下，総類縁物質：1.0%以下

※2：表示量に対する含有率 (%)

規格外：太字

● 無包装 曝光量 60 万 Lx·hr [25°C, 気密容器]

(最小値～最大値)

試験項目 ＜規格＞	総曝光量	
	開始時	60 万 Lx·hr
性状 ＜淡黄色の片面 1/2 割線入り 口腔内崩壊錠＞	淡黄色の片面 1/2 割線入り 口腔内崩壊錠	淡黄色の片面 1/2 割線入り 口腔内崩壊錠
純度試験 (HPLC) ＜※1＞	適合	適合
崩壊性	適合	適合
溶出性 (%) ＜15 分, 85%以上＞	95～100	97
含量 (%) ※2 ＜95.0～105.0%＞	98.47～99.95	99.17～99.56
(参考値) 硬度 (N)	4.9	4.6

※1: RRT 約 0.09 及び約 0.16 の類縁物質: 0.4%以下, RRT 約 0.88 の類縁物質: 0.3%以下, 左記以外の個々の類縁物質: 0.2%以下, 総類縁物質: 1.0%以下

※2: 表示量に対する含有率 (%)